

ビデオ プロジェクター

セットアップガイド

VPL-XW5000

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

本書およびヘルプガイド（Web 取扱説明書）をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。 <https://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル…………… 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話… 050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル…………… 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話… 050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「203」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1



このマニュアルについて

本書は、本機の設置から映像を映すまでの簡単な説明を記載しています。

「インジケータの見かた」は必要に応じてご覧ください。

操作方法について詳しくは、ヘルプガイド（Web 取扱説明書）をご覧ください。

Step 1

準備する 11 ページ

Step 2

設置する 12 ページ

Step 3

接続する 14 ページ

Step 4

見る 15 ページ

インジケータの見かた 16 ページ

寸法図 17 ページ

本機のマニュアルについて



セットアップガイド（本書）

本機の設置から映像を映すまでの簡単な説明を記載しています。



ヘルプガイド（Web 取扱説明書）

本機の機能や使いかたを詳しく説明しています。スマートフォンやパソコンでご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/vpl/xw5000/ja/>



安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- ・安全のための注意事項を守る。
- ・故障したり破損したら使わずに、ソニーのサービス窓口にご相談する。

警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電



高温



手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



接触禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがに
つながることがあります。



禁止

排気口、吸気口をふさがない

吸排気口をふさいだことによる熱で、やけど
をする恐れがあります。



指示

指定された部品を使用する

指定以外の部品を使用すると火災や感電およ
び故障や事故の原因となります。電池、フィ
ルターは指定されたものを使用してくださ
い。



注意

付属の電源コードを使用する

付属の電源コードを使用しないと火災・感電
の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードの挟み込みによりコードが傷付く
と感電の原因となります。



指示

電源コードのプラグおよびコネクター は突き当たるまで差し込む

電源コードは完全に挿入しないと接触不良に
より火災の原因となります。



禁止

容量の低い延長電源コードを使用しな い

電源の延長には定格に余裕のあるコードを使
用しないと発熱によりショートや火災、感電
の原因となります。



禁止

レンズを覗かない

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと
光が目に入り、悪影響を与えることがありま
す。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入り故障や火災の原因となりま
す。



お手入れの際は電源を切って電源プラ グを抜く

プラグをコン
セントから抜く
電源を接続したままお手入れをすると感電や
火傷の原因となります。



分解禁止

内部を開けない

不用意に分解したり改造すると火災や感電の
原因となります。



プラグをコン
セントから抜く

長時間の外出、旅行の時は電源プラグ を抜く

長時間の不在時に電源を接続したままにして
おくと思わぬ事故を招く恐れがあります。

注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり**周辺の商品に損害**を
与えることがあります。



注意

本機を運搬するときは落下に注意する

本機を持ち運ぶときは落下にご注意ください。落下するとプロジェクターが壊れたり、けがの原因となります。



指示

運搬するときは左右側面を両手で持つ

運搬するときは、必ず左右側面を両手で持つてください。他の部分を持つとプロジェクターが壊れたり、落してけがをすることがあります。床置きのプロジェクターを移動させるとき、本体と設置面との間に指を挟まないようご注意ください。



注意

運搬・移動は慎重に行う

プロジェクターを持ち運ぶ際、落下させるとけがやプロジェクターの破損の原因となります。



禁止

本機を立てておかない

縦置きすると倒れて思わぬ事故の原因となります。



禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

機器を油煙・湯気・湿気・埃の多い場所に設置すると、故障により火災や感電の原因となります。



禁止

床置きおよび天吊り以外の設置をしない

それ以外の設置をすると火災や大けがの原因となることがあります。



水ぬれ禁止

水のある場所に置かない

水のあるところに設置すると感電の原因となります。



禁止

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない

排気口やレンズの近くにスプレー缶などの発火物を置くと火災の原因となります。



禁止

不安定な場所に置かない

プロジェクターが落下してけがをする恐れがあります。



禁止

熱感知器や煙感知器のそばに設置しない

熱感知器、煙感知器のそばに設置すると装置が作動して思わぬ障害の原因となります。



禁止

梱包用のレンズ保護キャップを付けたまま投写しない

発熱による故障や火災の原因となります。



手を挟まれないよう注意

脚部調整時に指を挟まない

調整用足の調整を慎重に行わないと挟みこみ等で指をけがする恐れがあります。



禁止

製品の上に物を載せない

重量物や物を載せると故障や事故の原因となります。



接触禁止

落雷のおそれがあるときは、電源プラグに触れない

落雷による感電の恐れがあります。



高温

排気口付近に手や物を近づけない

排気口周辺の高温部に触れると軽い火傷をする危険があります。



禁止

排気口、吸気口を覗かない

排気口、吸気口を覗くと強い光で目を傷つける原因となります。



注意

電源コード、接続コードに足を引っ掛けない

電源コードや接続コードを足に引っ掛けて転倒したり、落下によるけがの原因となります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグに触らない

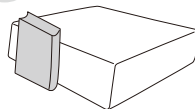
ぬれた手でプラグに触れると感電する危険があります。



禁止

投影中にレンズの前で光を遮らない

遮光した物に熱による変形などの影響を与えることがあります。



手を挟まれないよう注意

設置の際、本機と設置部分での指挟みこみに注意する

設置の際、本機と設置部分で指を挟み、けがをする恐れがあります。



禁止

熱機器近傍／直射日光下で使用しない

熱器具近傍／直射日光の下で使用すると火災や感電の原因となることがあります。



指示

光源回りは、製造所にて点検・修理を行う

本機はレーザーを使用しているため、光源まわりの点検等の整備を行う場合は、特別な注意と環境が必要です。必ずソニーの相談窓口にご相談ください。

天吊りする場合の安全上のご注意



警告



禁止

天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらない

天井への取り付けは必ずソニーの相談窓口にご相談ください（有料）。



指示

落下防止をする

天吊りする場合、必ずワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。その施工は、専門の設置業者に依頼してください。

特約店様へ



警告



注意

天井への取り付けには細心の注意を要する

- ・天井への取り付け強度が不十分だと、落下により死亡や大けがにつながる可能性があります。
- ・取り付けを安全に行うために、本書および取付金具説明書の注意事項をお読みください。
- ・取り付けは、取付金具説明書の手順に従い確実に行ってください。
取り付けが不完全な場合、落下する可能性があります。また、取り付け時には手をすべらせてプロジェクターを落下させ、けがをすることのないようご注意ください。



禁止

調整用工具を内部に入れない

調整中などに、工具を誤って内部に落とすと火災や感電の原因となることがあります。万一、落とした場合は、すぐに電源を切り、電源コードを抜いてください。

注意



指示

低い天井に天吊りしない

頭などをぶつけてけがをすることがあります。



指示

天吊りを行う際は必ず天井の強度を確認する

天井の強度を確認しないまま設置すると落下による事故の原因となります。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機で使用可能な乾電池についての注意事項を記載しています。

警告

- ・機器の表示に合わせて⊕と⊖を正しく入れる。
- ・充電しない。
- ・火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- ・コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- ・水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多い場所で使用しない。
- ・液漏れした電池を使用しない。
- ・電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは本体から取り出す。

注意

- ・外装チューブをはがしたり、傷つけない。
- ・指定された種類の電池以外は使用しない。
- ・火のそばや直射日光が当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。

注意

- ・指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。必ず指定の電池に交換してください。
- ・使用済みの電池、または製品本体は、国または地域の法令に従って処理してください。電池、または製品本体を廃棄する場合は、焼却したり火の中に捨てたりしないでください。また、機械的に粉砕したり、切断したりしないでください。破裂したり火災が発生することがあります。電池を極度の低気圧にさらさないでください。爆発や可燃性の液体、もしくはガスの漏れが発生する可能性があります。
- ・直射日光の下や火気の近くなど、高温のところに電池を置かないでください。発火・破裂・火災の原因となります。電池を水や海水に浸けたり、濡らしたりしないでください。感電の原因となります。

電池の使用に関するご注意

リモコンには、以下のバッテリーが必要です。

- ・バッテリーサイズ: 単3形
- ・使用個数: 2個

破裂の原因となりますので、以下のバッテリー以外は、使わないでください。

- ・マンガン乾電池

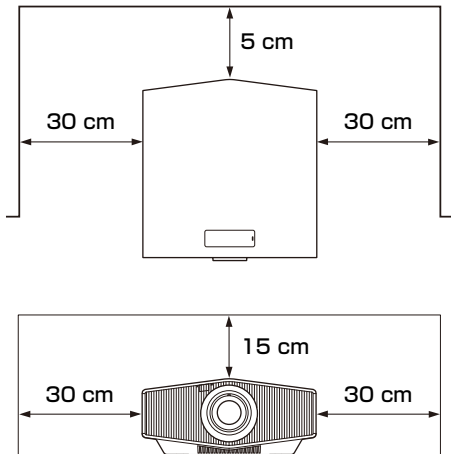
設置・使用時のご注意

設置に適さない場所

次のような場所には置かないでください。故障や破損の原因となります。

壁の近く

本機の性能信頼性のために、図のように周囲の壁から離して設置してください。

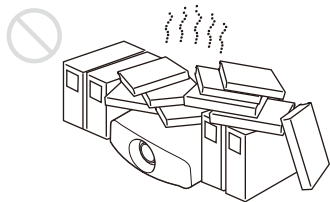


排気口側の壁は高温になる恐れがありますのでご注意ください。

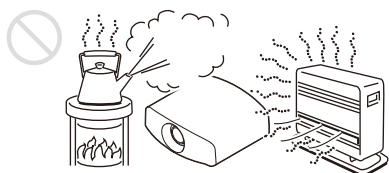
空調からの風や、本機またはほかの周辺機器からの排気などの影響で、まれに画面にゆらぎが発生する場合があります。空調の風やこれら排気が本体前面に回り込まないように設置にご注意ください。

風通しの悪い場所

本機の周囲から 30 cm 以内には物を置かないようにしてください。

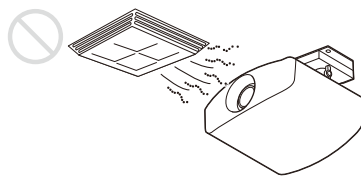


温度や湿度が非常に高い場所



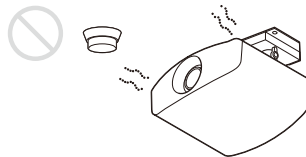
空調の冷暖気が直接当たる場所

結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。

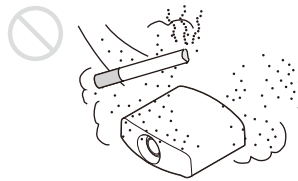


熱感知器や煙感知器のそば

感知器が誤動作する原因となることがあります。



ほこりが多い場所、たばこの煙などが直接入る場所



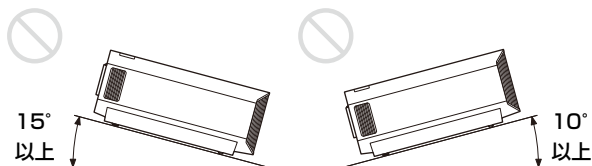
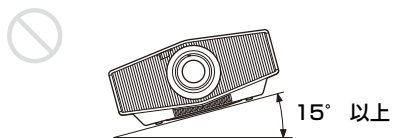
使用に適さない状態

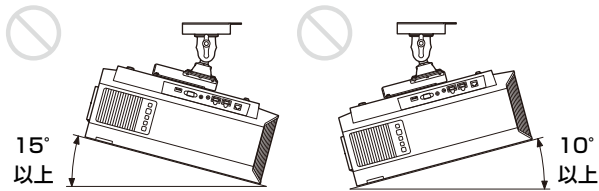
次のような状態では使用しないでください。

本機を前後左右に傾ける


本機を下図の角度以上傾けたり、床置きおよび天吊り以外での設置でお使いになることは避けてください。色むらの原因となることがあります。

本機を前後に傾けて配置するとスクリーン上の画像は台形状になります。スクリーンとレンズは平行となるように配置してください。





標高の高い場所でご使用になる場合

海拔 1,000 m 以上の場所でのご使用に際しては、「 初期設定」メニューの「高地モード」を適切に設定してください。そのまま使用すると、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

使用上のご注意

光源まわりの点検について

本機はレーザーを使用しているため、光源まわりの点検等の整備を行う場合は、特別な注意と環境が必要です。必ずソニーの相談窓口にご依頼ください（有料）。

長時間使用しない場合のご注意

長時間使用しないと、機能や性能に支障をきたすことがあります。ときどき電源を入れて動作させてください。

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えなかったりすることがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。これらは、プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。また、複数台の液晶プロジェクターを並べてスクリーンへ投写する場合、プロジェクターごとに色合いのバランスが異なるため、同一機種の組み合わせであってもそれぞれ色合いの違いが目立つ場合があります。

結露について

プロジェクターを設置している室内の急激な温度変化および、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだときなどは結露を引き起こすことがあります。

結露は故障の原因となりますので、冷暖房の温度調節にはご注意ください。

結露が起きたときは、プロジェクターの電源を入れたまま約 2 時間放置した後でお使いください。

セキュリティに関するご注意

・通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれ

によって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- ・使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。
 - ・セキュリティの面から、製品をネットワークに接続してご使用になる際は、ブラウザでコントロール画面にアクセスし、アクセス制限設定を工場出荷時の設定値から変更して設定することを強く推奨します。
- また、パスワードには他人に推測されにくく、十分な長さのある文字列を設定して厳重に保管することを推奨します。
- ・設定作業中または設定作業後のブラウザで他のサイトを閲覧しないでください。ブラウザにログインした状態が残りますので、意図しない第三者の使用や悪意のあるプログラムの実行を防ぐために、設定作業が完了したら必ずブラウザを終了してください。
 - ・本製品のネットワークへの接続には、ルーターやファイアウォールなどの保護機能を通して接続をしてください。このような接続をしない場合、セキュリティ上の問題が生じる可能性があります。

医療機器に近づけない

本製品（付属品を含む）は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本製品のご使用前に担当医師にご相談ください。

一般家庭用以外での使用による故障や損傷、または、それに伴う損害等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

注意

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターを以下のポートに接続しないでください。

- ・LAN

重要

機銘板は、製品上の以下の位置に貼付されています。

- ・側面

注意

付属の電源コードは本機の専用品です。他の機器には使用できません。



このシンボルは、機器に付属の文書に重要な操作および保守（サービス）の指示があることをユーザーに警告することを目的としています。

この機器は、電気通信回線設備に直接接続することができません。この機器をインターネットに接続する場合は、必ず電気通信事業法の認定を受けたルーター等を経由してください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

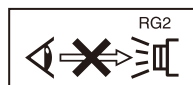
本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。



JIS C6802:2014

クラス 1 レーザー製品

- ・本機は EN 60825-1:2014+A11:2021 に準拠しています。
- ・本機は EN 50689:2021 に準拠しています。
- ・本機は壁やスクリーン等に映像を投影する製品です。



明るい光源と同じように、ビームをのぞき込まないこと。

RG2 IEC 62471-5:2015

警告

レンズをのぞかない。投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと、強い光が目にも悪影響を与えることがあります。

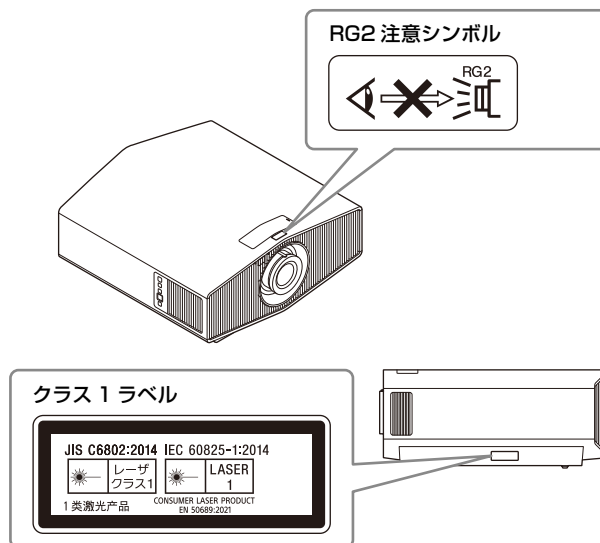
注意

ここに規定した以外の手順による制御および調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

注意

本製品に対し光学機器を使用すると、目に対する危険が高まります。

ラベルの位置情報



レーザー特性

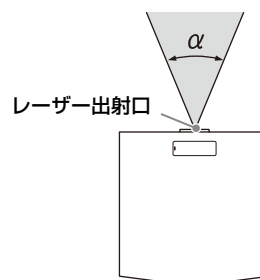
4.8W レーザーダイオード × 14

波長：450 - 460 nm

レンズからのビームの広がり角

ズーム最大値： $\alpha = 39.9^\circ$

ズーム最小値： $\alpha = 25.5^\circ$



ライセンスについて

ライセンスの内容については、ヘルプガイドの「ソフトウェアに関するお知らせ」をご覧ください。

付属品を確かめる

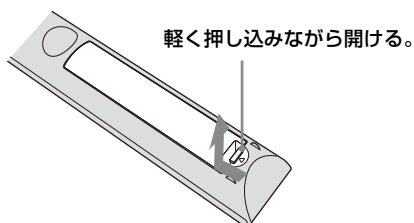
箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

- ・リモコン RM-PJ28(1 個)
- ・単 3 型乾電池(マンガン)(2 本)
- ・レンズキャップ(1 個)
お買い上げ時は本体に取り付けられています。
- ・電源コード(1 本)
- ・セットアップガイド(本書)(1 部)
- ・保証書(1 部)

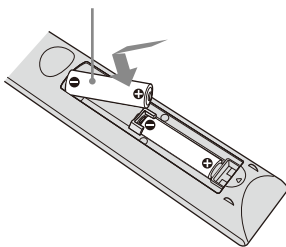
レンズキャップを外す

ご使用時には、レンズキャップを外してください。

リモコンに電池を入れる



● 極側から電池を入れる。



リモコンの取り扱いについてのご注意

- ・落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- ・直射日光が当たるところ、暖房機具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

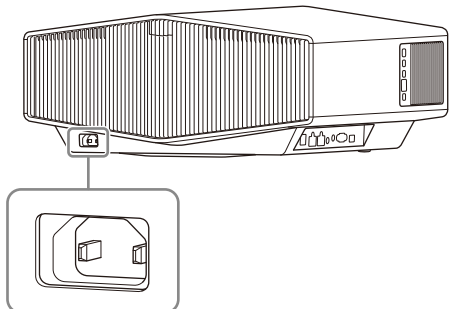
Step 2

設置する

1 レンズがスクリーンに平行になるように本機を置く。

2 電源コードを本機につないでから、電源プラグをコンセントに差し込む。

本機後面



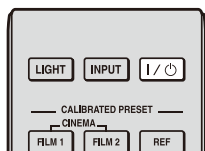
本機前面



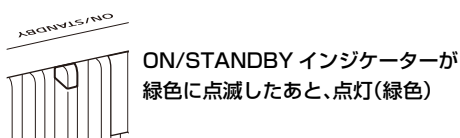
ご注意

電源コードを本機に接続した際、ON/STANDBY インジケータがオレンジ色に点滅することがあります。その間、操作を受け付けなくなりますが、故障ではありません。赤色の点灯が変わるまでお待ちください。

3 I/⏻ (オン/スタンバイ) ボタンを押して電源を入れる。

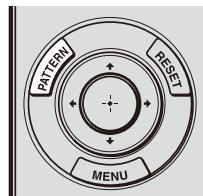


本機前面



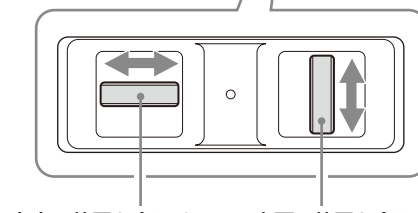
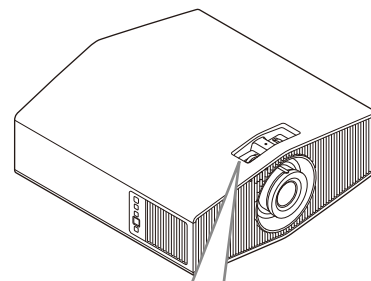
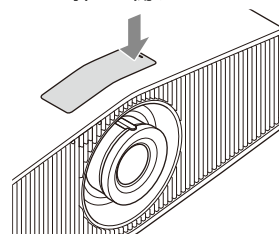
ON/STANDBY インジケータが緑色に点滅したあと、点灯(緑色)

4 コントロールパネルの LENS ボタンまたはリモコンの PATTERN ボタンを押して、調整用のテスト信号を表示させる。



① 本機上部の蓋を開け、両方のレンズシフトダイヤルを動かして画面の位置を合わせる。

押して開ける



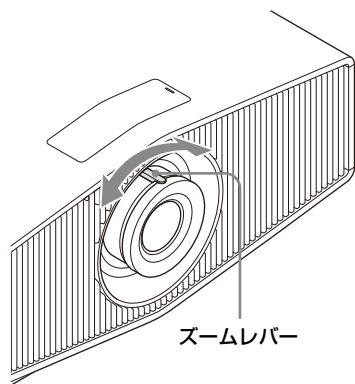
左右の位置を合わせる

上下の位置を合わせる

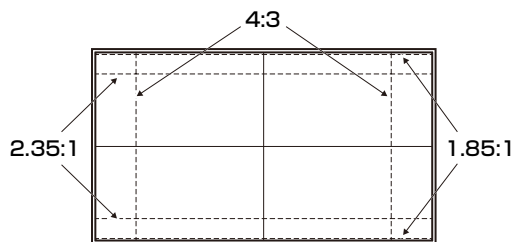
ご注意

- ・画面の位置を合わせたら、蓋を元の位置に取り付けてください。
- ・天吊り時にシフトダイヤルの蓋を開ける際、蓋が落下する可能性があります。蓋の開閉およびダイヤルの操作時にはご注意ください。

- ② ズームレバーを回して画面の大きさを合わせる。

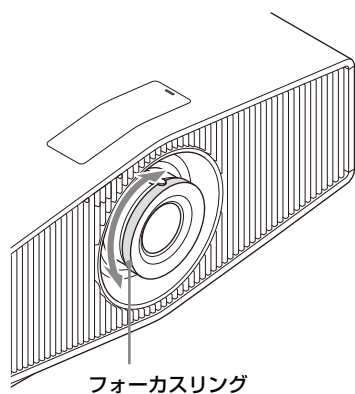


レンズ調整画面 (パターン画面)



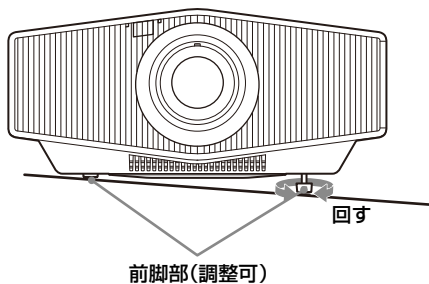
破線は各アスペクト比の画角を示しています。

- ③ フォーカスリングを回してピントを合わせる。



設置面の傾きを調整するには

本機を置く台などが水平でない場合は、前脚部（調整可）を使って調整できます。



ご注意

- ・ 本体を垂直方向に傾けると、投写画面が台形に歪みますのでご注意ください。
- ・ 前脚部（調整可）を回す際は、手を挟まないようご注意ください。

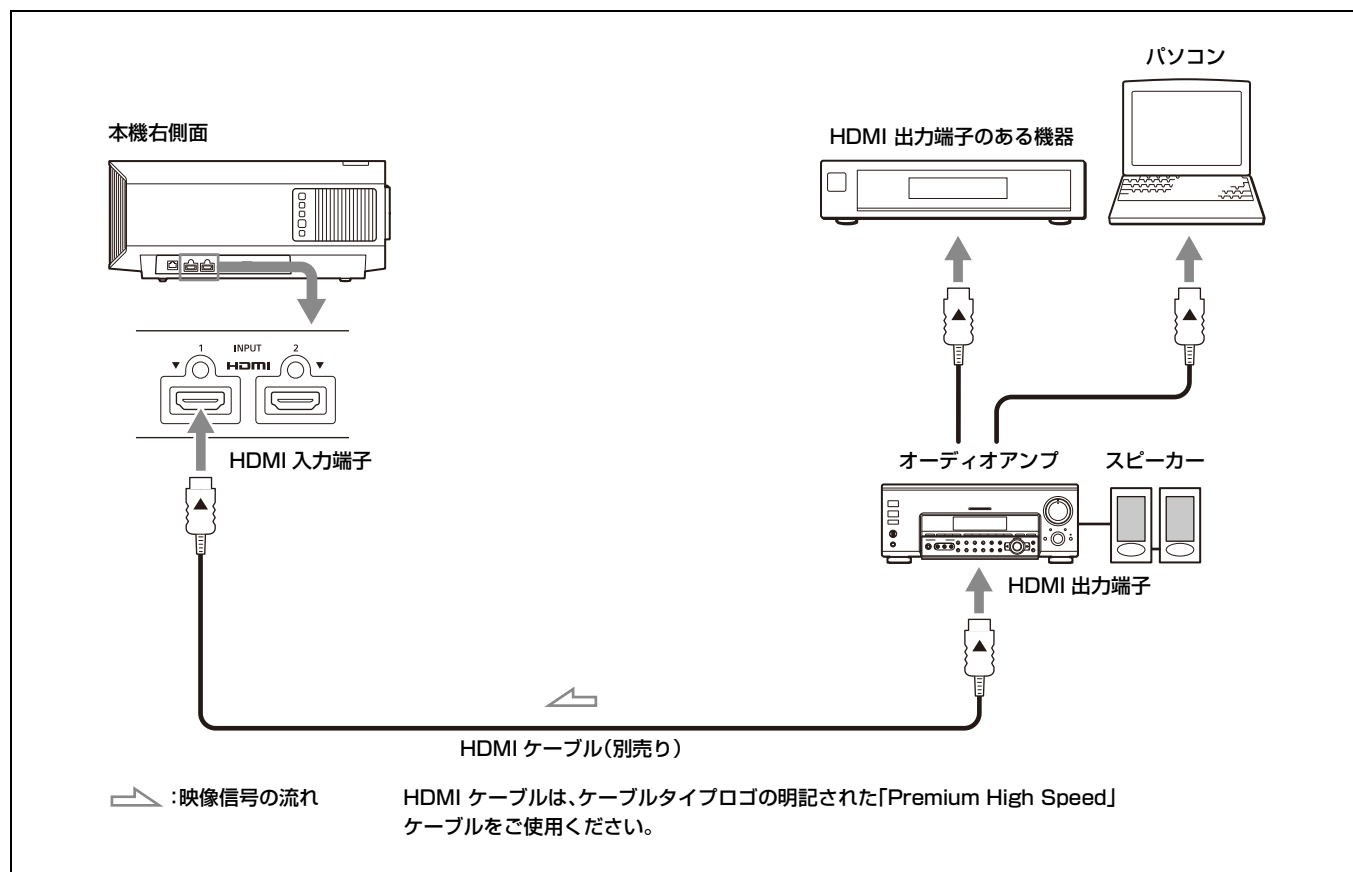
◆さらに詳しく知りたいときは、ヘルプガイドの「設置と接続」をご覧ください。

Step 3

接続する

接続するときは

- ・各機器の電源を切った状態で接続してください。
- ・接続ケーブルは、各端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- ・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、動作不良や画質不良の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- ・接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



ネットワーク経由でプロジェクターの監視、制御を行う際は、ウェブブラウザで本製品の Setup ページ（ヘルプガイドの「ネットワーク機能を利用する」参照）にアクセスし、お使いになる制御プロトコルを有効に設定してからお使いください。

◆さらに詳しく知りたいときは、ヘルプガイドの「設置と接続」をご覧ください。

映像を投写する

- 1 本機と、本機に接続した機器の電源を入れる。
- 2 INPUT ボタンを押して、スクリーンに入力選択パレットを表示させる。
- 3 スクリーンに映したい機器を選ぶ。
INPUT ボタンを繰り返し押すか、↑/↓/⊕(確定) ボタンで映したい機器を選びます。

電源を切る

- 1 I/⏻ (オン/スタンバイ) ボタンを押す。
「パワーオフしますか?」というメッセージが表示されます。
- 2 メッセージが消える前に I/⏻ (オン/スタンバイ) ボタンをもう一度押す。
ON/STANDBY インジケーターが緑色に点滅し、本機内部の温度を下げるために、ファンが回り続けます。

ファンが止まり、ON/STANDBY インジケーターが緑色の点滅から赤色の点灯に変わります。

以上で本機の電源が切れるため、電源コードを抜くことができます。

ご注意

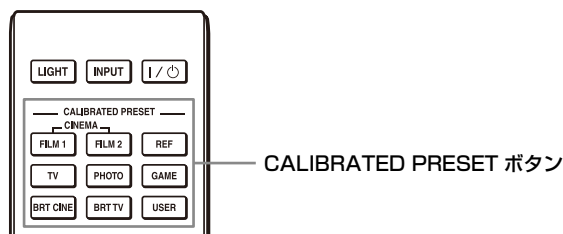
インジケーターの点滅中は、電源コードを抜かないでください。

ちょっと一言

上記の手順のかわりに I/⏻ (オン/スタンバイ) ボタンを約1秒押しただまにでも電源が切れます。

画質を選ぶ

CALIBRATED PRESET ボタンを押す。



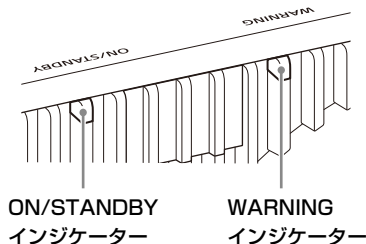
設定モード	説明
CINEMA FILM 1 (シネマ フィルム 1)	最高画質といわれるマスターポジフィルム (ダイナミックレンジの広い、透明感のある画質) を再現する画質設定です。
CINEMA FILM 2 (シネマ フィルム 2)	「シネマ フィルム 1」をベースにした、実際の映画館の映像美を再現する画質設定です。
REF (リファレンス)	コンテンツの持つ画質そのものを忠実に再現したい場合や、調整のない素直な画質を楽しむのに適した画質設定です。
TV (TV)	テレビ番組やスポーツ、コンサートなどのビデオ映像を見るのに適した画質設定です。
PHOTO (フォト)	デジタルカメラなどの静止画を見るのに適した画質設定です。
GAME (ゲーム)	ゲーム用にメリハリある色再現や応答性に優れた画質設定です。
BRT CINE (ブライツシネマ)	明るい環境で、映画を見るのに適した画質設定です。
BRT TV (ブライツ TV)	明るい環境で、テレビ番組やスポーツ、コンサートなどのビデオ映像を見るのに適した画質設定です。
USER (ユーザー)	お好みに合わせた画質に調整、設定し保存します。お買い上げ時は「リファレンス」と同じ設定です。
IMAX Enhanced	IMAX Enhanced コンテンツを見るのに適した画質設定です。 MENU ボタンを押して、「  画質設定」メニューの「ピクチャープリセット」から選択してください。

◆さらに詳しく知りたいときは、ヘルプガイドの「投写する」をご覧ください。

インジケータの見かた

本機では、本体前面の ON/STANDBY インジケータと WARNING インジケータの点灯または点滅で不具合をお知らせします。

ご使用中にトラブルが発生したり、メッセージが表示された場合は、ヘルプガイドの「困ったときは」をご覧ください。



点滅／点灯状態	点滅回数	原因と対処
<p>(赤点灯) (赤点滅)</p>	3回	光源および光源電源の異常により正しく点灯できない状態になっています。電源を切り、しばらくたってからもう一度電源を入れてください。 症状が再発する場合はソニーの相談窓口にご相談ください。
<p>(赤点滅) (赤点滅) 同時に点滅</p>	2回 3回	本体内部温度が高温になっています。排気口、吸気口がふさがれていないか、標高が高い場所で使用していないか確認してください。 ファンが故障しています。ソニーの相談窓口にご相談ください。

ご注意

上記対応を行っても解決しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。

また、上記以外のインジケータ点滅の場合は、リモコンあるいは本体ボタンで再度電源を入れてください。

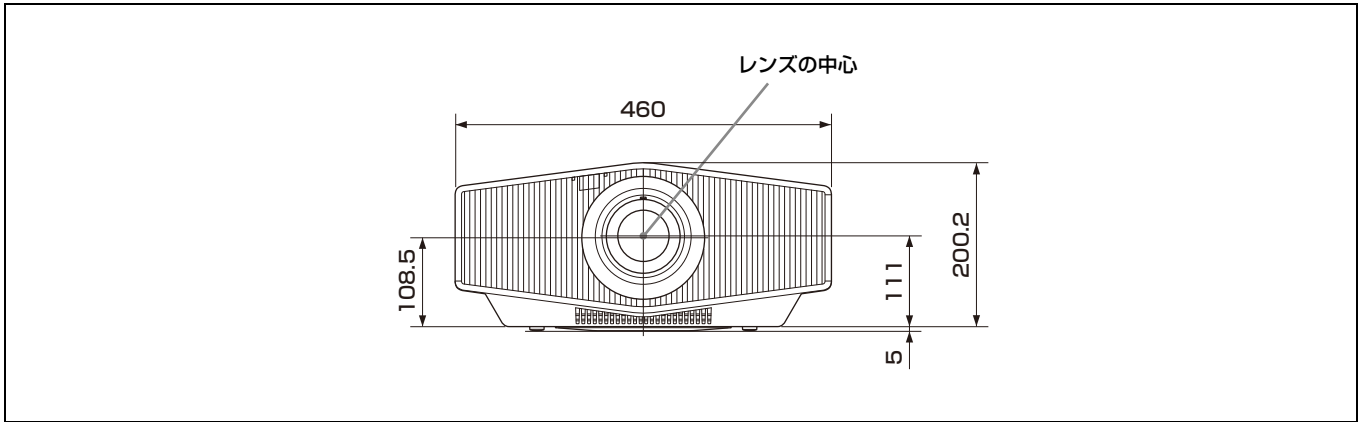
それでも症状が再発する場合はソニーの相談窓口にご相談ください。

◆ご使用中にトラブルが発生したり、メッセージが表示された場合は、ヘルプガイドの「困ったときは」をご覧ください。

寸法図

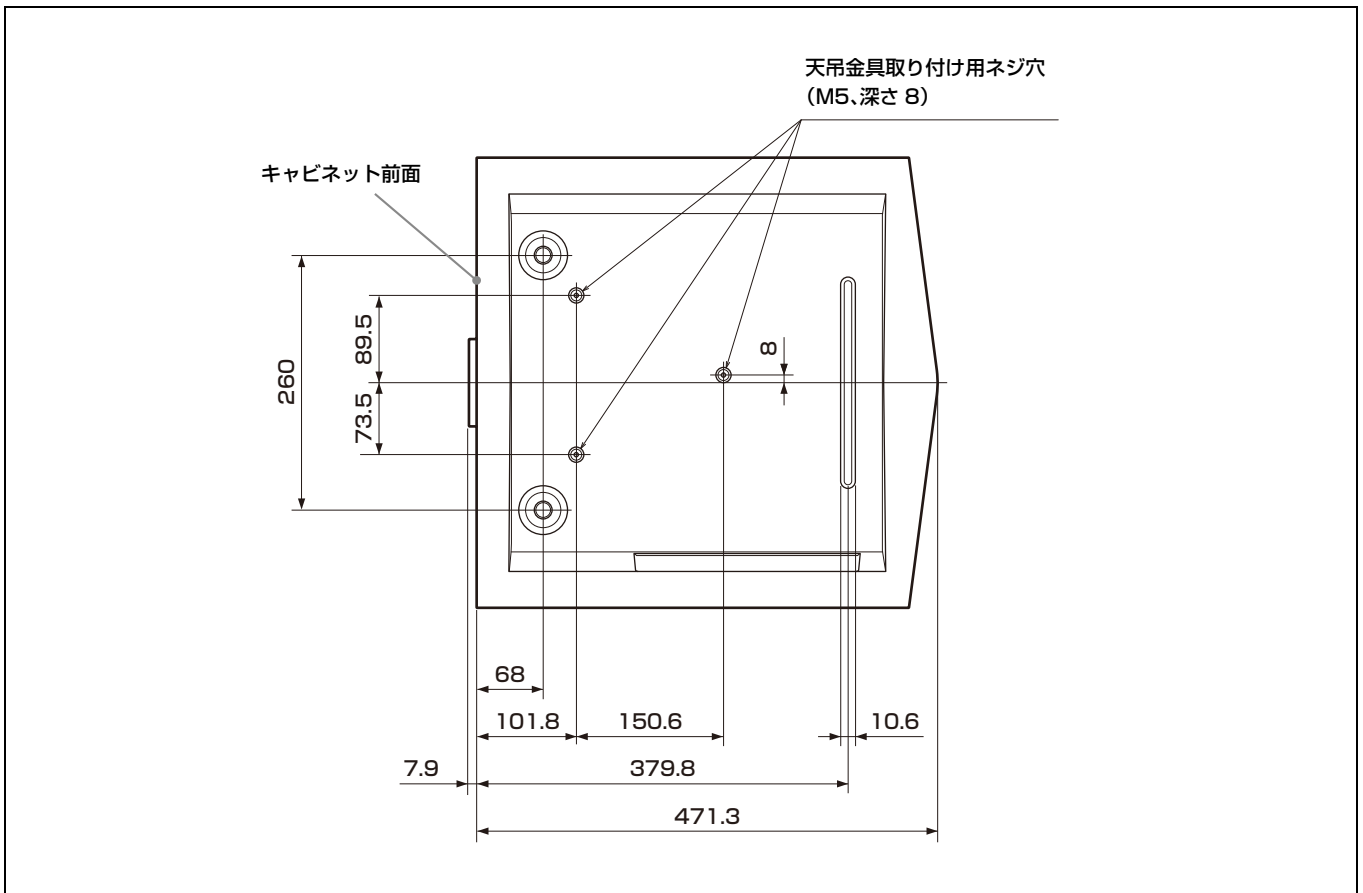
本体前面

単位：mm



本体底面

単位：mm



ご注意

天吊金具取り付け用ネジ穴

天吊金具取り付け用ネジは、6.4 mm（最短）から8.0 mm（最長）の間のもので使用してください。

推奨締め付けトルク（ネジを回転方向に回す力）： 1.4 ± 0.2 N·m

